

緊急用シャワー・洗眼器
緊急用洗眼器
共通取扱説明書

改訂	摘要	日付	作成	作成/確認	承認
0	完成図書	2016/2/2	小澤	松尾	川島
NIPPON ENCON 日本エンコン株式会社 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-10-36 KDX横浜西口ビル2F Tel: 045-312-1886 Fax: 045-312-8550		緊急用シャワー・洗眼器 型式番号: 図面番号: 図書番号: SED-ALL			

取扱説明書

このたびは弊社、緊急用シャワー・洗眼器製品をお求めいただき有難うございます。
設置、ご使用前に必ずお読みください。

目次	ページ
0. <u>設置業者様へのご注意</u>	3
1. <u>設置</u>	4
2. <u>ANSI規格</u>	
2-1. <u>設置上の注意事項</u>	4
3. <u>操作方法</u>	
3-1. <u>緊急用シャワー</u>	5
3-2. <u>緊急用洗眼器</u>	6
4. <u>使用開始前作動テスト</u>	7
5. <u>点検及び訓練</u>	7
6. <u>不良原因と対策</u>	8

設置業者様へのご注意 必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

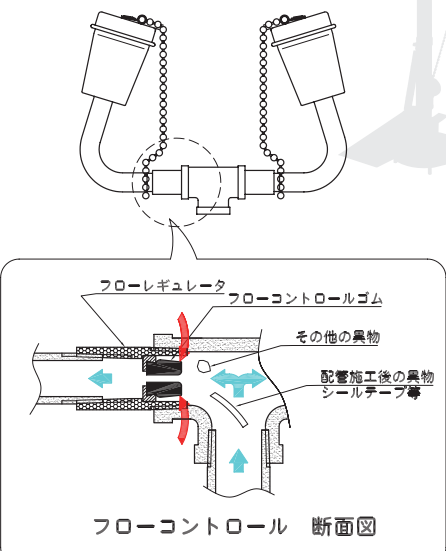
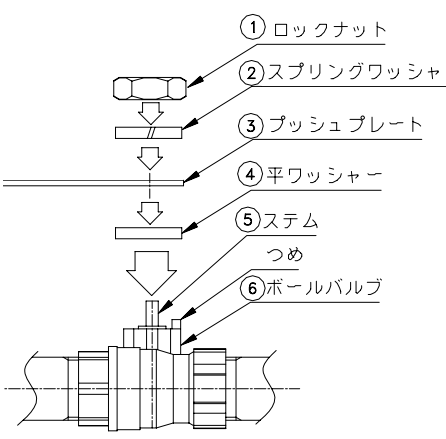
誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

 警告	必ず配管施工前に水を流し、内部に異物がないことを確認してください。 弊社機器には、水流を調節するレギュレーターが組み込まれております。レギュレーター部の通水口径は数ミリと小さい為、配管内に異物があると目詰まりを起こし、著しく機器機能を妨げます。 給水配管・給水環境に合わせて、給水手前にストレーナーを取り付けることをお勧めいたします。	ストリームヘッド アセンブリ  フローコントロール 断面図
 注意	ボールバルブに取り付けられているバルブアームおよびプッシュプレートは、取り外さないでください。 作動不良や漏れ等が発生するおそれがあります。 配管施工上、やむを得ず、取り外される場合は、右図の順番で組み直してください。（部品を紛失した場合は、そのままにせず、お問い合わせください。） 部品の欠落や、組立順番の誤りによって、作動不良や漏れ等が発生するおそれがあります。	

1. 設置

- 1-1. 緊急用シャワーおよび緊急用洗眼器を設置する前に、必ず給水元を放水し、配管内の汚れやごみ等の異物を取り除いた後に、本体と配管接続をして下さい。
- 1-2. 製品を梱包箱から取り出し、包装を外してください。
- 1-3. 梱包材料やその他の付着物をきれいにとり、図面の組立要領に従って製品を設置してください。

2. ANSI規格

ANSI Z358.1規格で、緊急用シャワー・洗眼器に関して下記のように定めています。

2-1.設置上の注意事項

- 2-1-1. 緊急用シャワー・緊急用洗眼器は操作及び保全上の安全確保のため十分な作業空間をとって設置してください。
- 2-1-2. 緊急用シャワー・緊急用洗眼器は危険物取扱場所から10秒以内に到着可能な場所、距離にして15m以内に設置してください。
- 2-1-3. 緊急用シャワー・緊急用洗眼器は危険物取扱場所と水平な場所に設置し、通路には瞬時の使用を妨げるような障害物がないようにしてください。
- 2-1-4. 緊急用シャワー・緊急用洗眼器の設置場所の周囲は明るくしてください。
- 2-1-5. 緊急用シャワー・緊急用洗眼器の供給には、必ず飲料水又はこれと同様なきれいな用水を使用してください。
- 2-1-6. 流水温度は16℃～38℃に保ってください。流水温度が化学反応を促進する場合がありますので、各々利用法の最適流水温度を相談してください。
- 2-1-7. 供給水圧は0.2MPaG以上、0.55MPaG以下としてください。

* 床取付け型以外の製品は、以下の寸法を目安に設置し、

ANSI Z358.1に準拠することを推奨いたします。

・シャワーヘッドの高さ

シャワーヘッドから地面までの距離：2083～2483mm

・洗眼器の高さ

洗眼ヘッドから使用者の足元面までの距離：838～1143mm

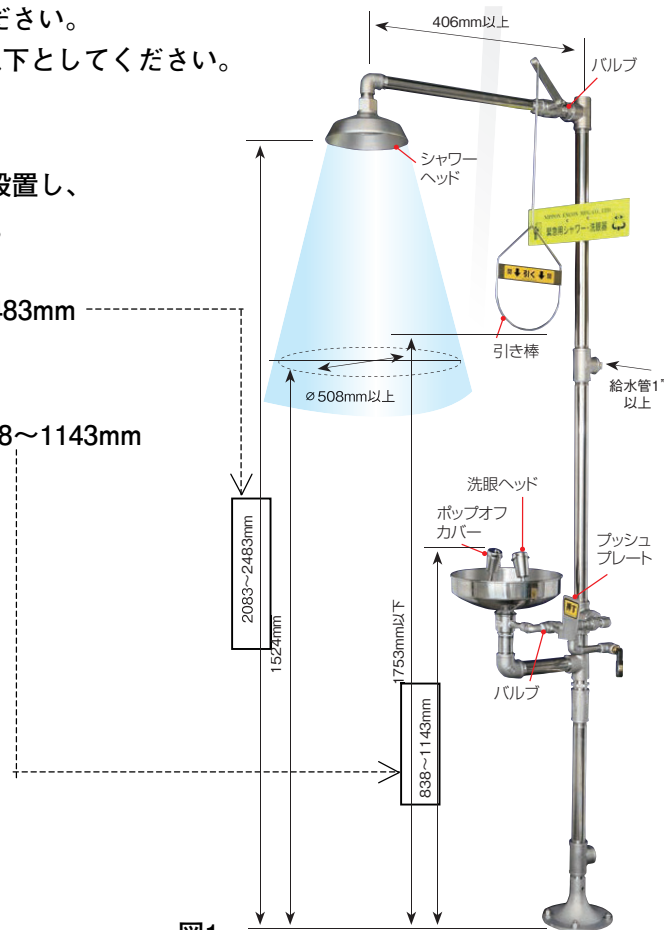
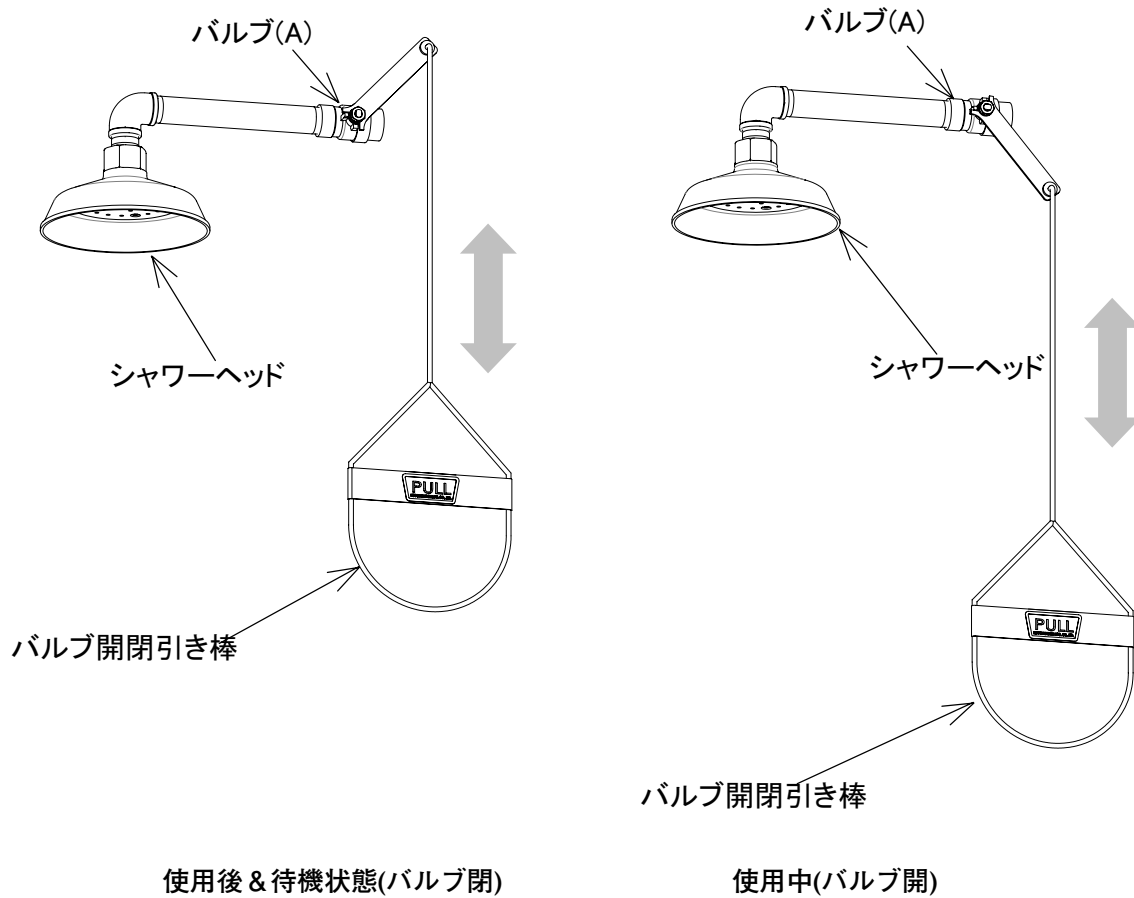


図1

3. 操作方法

3-1. 緊急用シャワー

- 1) 水を流すには
バルブ開閉引き棒を「下に引く」ことによりバルブ（A）が開き、シャワーヘッドより水が噴出し、洗身できます。
- 2) 水を止めるには
バルブ開閉引き棒を「上に押し上げる」ことによりバルブ（A）が閉じ、シャワーヘッドからの流水が止まります。



3. 操作方法

3-2. 緊急用洗眼器

1) 水を流すには

バルブ開閉板を「押し倒す」ことによりバルブ(B)が開き、洗眼ヘッドより水が噴出し、洗眼できます。
洗眼ヘッドに取り付けられているポップオフカバーは水圧で自動的に外れます。

2) 水を止めるには

バルブ開閉板をもとの位置に「引き戻す」とバルブ(B)が閉じ、洗眼/顔ヘッドからの流水が止まります。

洗眼器の使用後は、清潔さを保つためポップオフカバーを洗眼/顔ヘッドに必ずかぶせてください。

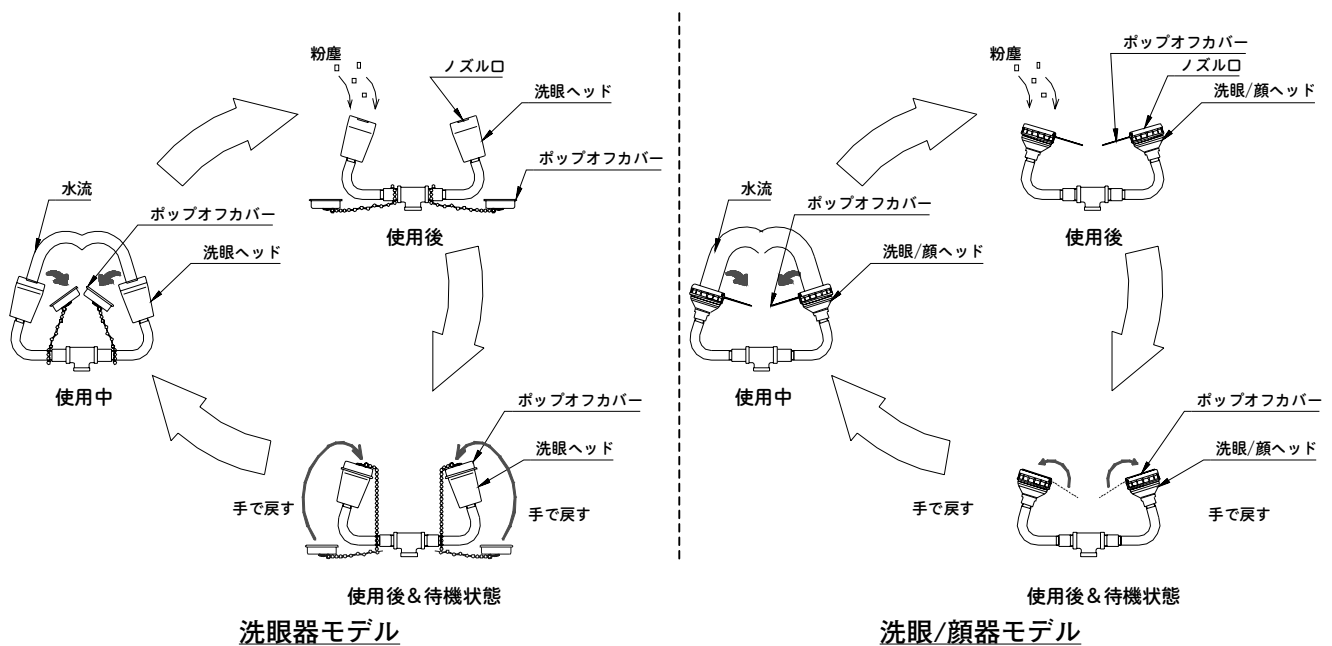


図3. 洗眼器の動作

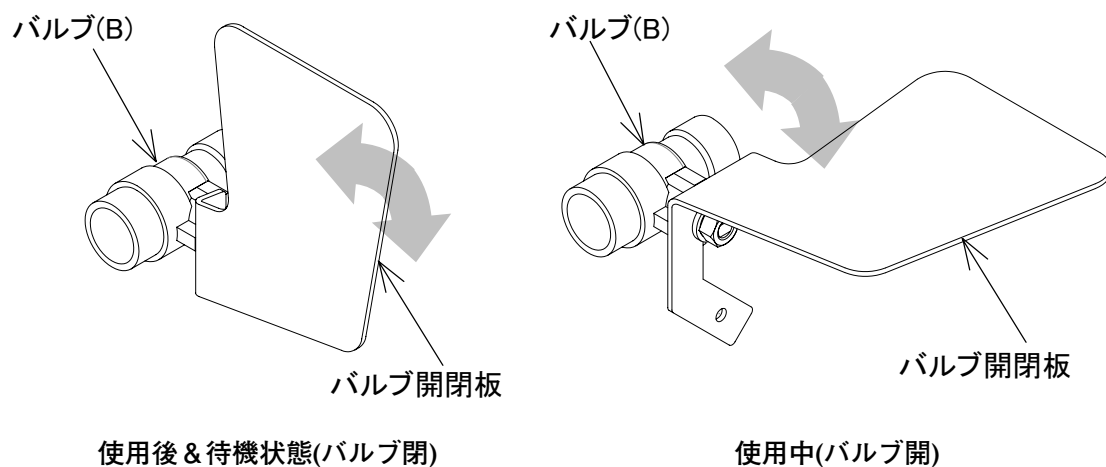


図4. バルブ開閉板の動作

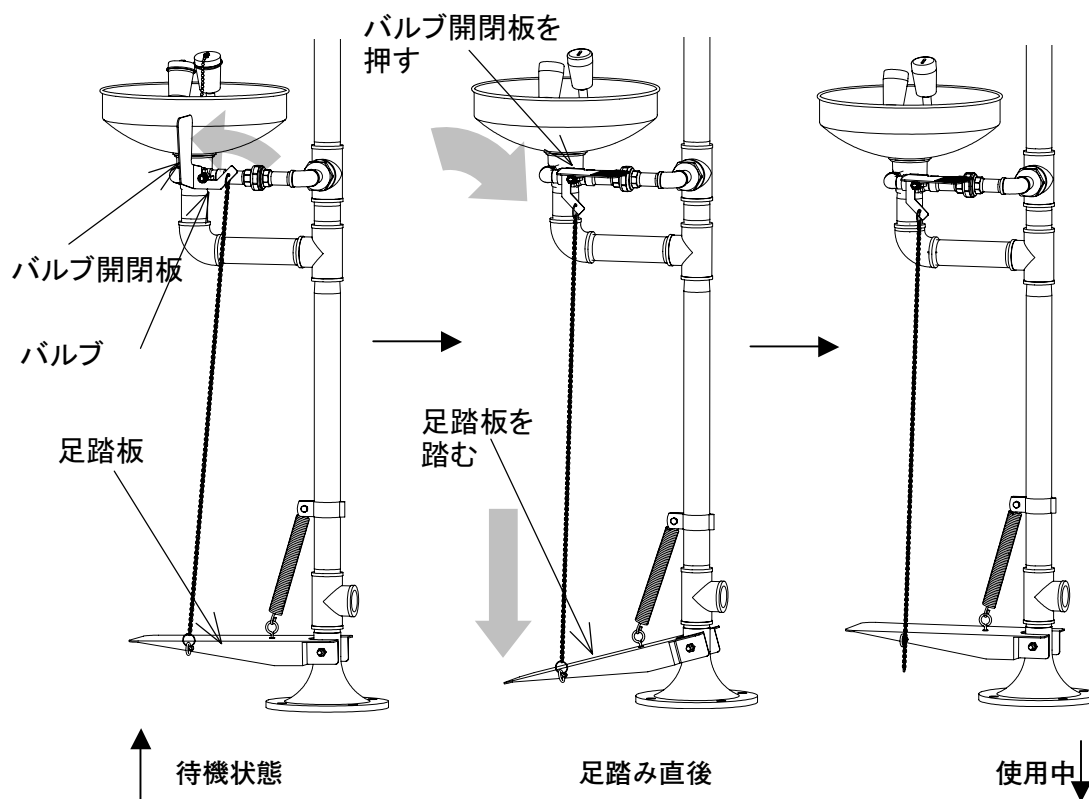


図5. 足踏み板付きモデルの動作

4. 使用開始前作動テスト

緊急用シャワーおよび緊急用洗眼器を設置後、下記の要領で使用開始前作動テストを行ってください。

- 4-1. 緊急用シャワーおよび緊急用洗眼器を給水口に接続した後、バルブが閉まった状態で目視により配管部から漏れがないことを確認してください。
- 4-2. バルブ(B)(無い場合はバルブ(A))の半開閉を数回行いながらエア抜きを十分に行ってください。
この際、洗眼ヘッドやシャワーヘッドを絶対に覗き込まないでください。
施工直後では、給水配管の異物やエアが急激に出てケガをする恐れがあります。
- 4-3. バルブ(B)を全開し、洗眼ヘッドから左右バランスよく流水することを確認してください。
問題ないことを出来たら閉じてください。(前ページ 3-2 1),2)を参照ください)
- 4-4. バルブ(A)を全開し、シャワーヘッドからの流水が体全体に十分かかることを確認してください。
問題ないことを出来たら閉じてください。(前ページ 3-1 1),2)を参照ください)

5. 点検及び訓練

- 5-1. 緊急用シャワーおよび洗眼器を週1回作動させ、作動確認及び点検結果を記録してください。
- 5-2. 有害物質が作業者の身体にかかった時、応急手当の前に15分以上有害物質を洗い流してください。
- 5-3. 有害物質が作業者の目にかかった時、応急手当の前に15分以上有害物質を洗い流してください。
洗眼中は手でまぶたを開いた状態に保持し、眼球を動かしてください。
- 5-4. 危険物質を取り扱う全ての作業者に設置場所にて適切な使用方法の訓練を行ってください。

6. 不良原因と対策

不良現象	原因	対策
洗眼ヘッドからの流水が左右アンバランス	洗眼器が水平に取り付けられていない。	洗眼器を水平に取り付け直してください。
洗眼ヘッドからの水の出が悪い	レギュレーターの目詰まり	洗眼ヘッドを取り外し、水の出を確認する。 水が正常に出たら、ゴミを取り除き再度組立直してください。
	水圧不足	流水を確認してください。1.5Liter／分以下の場合は、流水不足ですので給水口の水圧を確認してください。 十分な水量を確保するには、0.2MPaG以上、0.55MPaG以下の圧力が必要となります。
バルブ開閉引き棒又はバルブ開閉板の動きが悪い	バルブに異物の混入	バルブを取り外し、内部の確認を行い、異物を取除いてください。
シャワーヘッドからの流水が悪い	水圧不足	流水を確認してください。75.7Liter／分以下の場合は、流水不足ですので給水口の水圧を確認してください。 十分な水量を確保するには、0.2MPaG以上、0.55MPaG以下の圧力が必要となります。